

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぽけっと 向ヶ丘遊園教室
公表日	令和7年 3月 20日

利用児童数 44 回収数 24

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2	0	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	3	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	2		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	2	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	6	3	2		スキル獲得を目的に意図的にある程度同じプログラムを行っておりますが、様子を見ながらプログラムを変更等は行っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	9	6		教室でスキルを獲得することを目的としているため、教室外で交流する機会はなかなか設けることが難しいですが、支援を通じてご家庭や園で役に立てるよう支援を行って参ります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	5	3	4		セラピーや就学相談などの短時間の動画リンクを玄関先に掲示しておりますのでぜひご確認くださいませ。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	15	6	2	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	5	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	4	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	13	6		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3	0	3		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	4	2	1		
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	3	0	8			
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	1			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	0	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	12		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	18	2	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	16	2	0	6	事故が発生していない	ヒヤリハットの共有などを行い、事故が発生しないよう活動しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	1	1	毎回楽しみにしています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	3	0	0	言語聴覚士の先生を補充してほしいです 見学会などがあると良い	言語聴覚士は継続して採用活動を行っており ます。

事業所における自己評価結果

公表		事業所における自己評価結果				
事業所名		てらびあぼけっと 向ヶ丘遊園教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		4名利用時大部屋でセラピーを行うと子供がそわそわするので環境設定が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4		特に土曜日Cクールは不足職員を2名増やしてほしい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	空き時間に消毒して清潔さを保っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	子どもに応じて部屋が適切に相談して行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	月に何回か職員会議があり振り返る時間がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月に1度は職員会議を実施できるだけ要望に応じられるようプログラムを見直している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		もう少し訪問SVの頻度が上がるとより良くなると思う
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	定期的に研修を行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	カンファレンスを実施している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	必要に応じてカンファレンスを実施しプログラムの見直しをしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	共有を都度行っているプログラムで疑問に思ったことは職員間で相談している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	年齢に合わせた遊びと新しい遊びを都度提案している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	連携が必要な際は声掛けを行っている職員緩での共有を都度行い連携できている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	その日の様子など都度共有している共有ファイルや終礼で気づきの共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	特記事項も加えて記録するようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に1度は行っている	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		会議は行っていない	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		必要に応じて園などと連携を行っている	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	必要に応じて共有を行っている 保育園との情報共有や保護者からのテスト結果などを参考にしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		学校との連携は行っていない
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	定期的に保育所等と面談や子どもの様子を伺っている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	ノートやフィードバックで行っている 必要に応じて保護者にフィードバックを行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	玄関におうちでもできるてらぼけLABの動画リンクを貼りだしている	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談にて行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	都度行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要があれば職員間で共有し返答をしている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	3		更新の頻度が止まっているので月に1度くらい最新の情報があると教室の様子も想像しやすくなる
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	フィードバックは希望性で玄関内で行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に行っている	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	面談時に確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	面談時に確認している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	月ごとにヒヤリのまとめを作成し、再発防止に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		

事業所における自己評価総括表

公表	令和 7 年 3 月 20 日		
○事業所名	てらびあぼけっと 向ヶ丘遊園教室		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 27 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有が円滑に行われている事。	職員間のコミュニケーションを大切にしており、カンファレンスや会話の中で情報共有を行っている。細かい事でもヒヤリハットを提出し、共有と検討を行っている。	引き続き職員間のコミュニケーションと、日々の情報共有の場を大切にしていく。
2	お子さま一人一人に合わせた環境設定を行っている事。	活動にお子さまが集中できるよう、刺激になるものや活動の妨げとなるものを目隠している。毎日の教室内清掃と玩具の消毒を定期的に行い衛生管理に努めている。	お子さま一人一人に合わせた必要な環境設定と清掃等の衛生管理を徹底し、安全・安心な環境作りに努めていく。
3	定期的にかンファレンスを行いプログラムの見直しをしている。	定期的にお子さま一人一人の検討会議やカンファレンスを行い、必要に応じてプログラムの見直しを行っている。書面や口頭にてその日のお子さまの様子を職員間で都度共有を行っている。	引き続きお子さまの様子を見ながら必要に応じてカンファレンスを行い、プログラムの見直しを行っていく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラムが固定化していることについて。	必要だと判断したスキルを確実に獲得することを目的にしている。獲得するまでを細かく段階分けしていることもあり、同じようなプログラムを行うことがある。	お子さまと向き合う中で、必要に応じて引き続きプログラムの見直しを定期的に行っていく。また、ご家族の方と情報共有を行い、お子さまにとって必要なスキルを検討しそれに応じた練習を行っていく。
2	利用しているお子さま全員が満足できる活動を提案できているか見直しが必要。	活動の流れは基本的に統一されているので、お子さまのその日の気分によっては「つまらない」と感じてしまうのかもしれない。「楽しい」と感じるができるプログラムや遊びを積極的に職員が提案していく必要がある。	自由遊びの時間等に、みんなでできる遊びの時間を作り、「楽しい」と感じるができる活動を行っていく。また、その時間は、小集団活動としてお子さま同士のコミュニケーションを大切にし、お子さまの「できた」という経験を大切にしていく。
3	保護者の方とのフィードバックが希望制であるため、共有が難しいことがある。	騒音トラブル、個人情報保護の観点からフィードバックは希望制にしている。そのため、希望がないときにはお子さまの様子を直接共有することができていない。	希望制ではあるが、情報共有はとても大切なことなので、見学やフィードバックをいつでも受け付けている。お子さまの頑張りや成長をぜひ感じてもらいたいため、ご家族の方との関わりも大切にしていきたい。いつでもお声掛けください。